

2007 年度

科目名 日本文学史Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 浅尾 広良
授業テーマ 前期物語文学史―異境を中心として―		
授業の概要と目標 古典文学史のうち、神話から前期物語文学史を解説する。物語文学史を考えるにあたって重要なのは、「異境」の存在である。物語の祖と言われる『竹取物語』は異境の喪失をテーマとする。いわば物語文学は、異境を喪失するところから始まると言って良い。それ以降の物語は、喪失した異境をどのように物語の中に内在させるかがテーマとなる。神話世界の話から始まり、『竹取物語』を経て、『伊勢物語』『源氏物語』がどのように異境と向き合うのかを解説する。		
評価方法 学期末試験、毎回授業の最後に行う確認小テスト、出席の三者を総合して評価する。		
テキスト 授業時にプリントを配布する。	著者	出版社
参考書 授業時に適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 オリエンテーション（オリエンテーション・授業の進め方ガイダンス） 2 異郷訪問譚の文学史…「異郷とは何か」「異郷訪問譚の基本形」（『日本書紀』・『丹後国風土記』・『万葉集』） 3 異人來訪譚の文学史…「異人來訪譚の基本形」（『万葉集』・『近江国風土記』・『丹後国風土記』） 4 異類婚姻譚としての異人來訪…（『古事記』三輪山神話 他） 5 『竹取物語』講読①…冒頭場面 6 『竹取物語』講読②…昇天場面 7 『伊勢物語』の特徴…歌語り・書名の由来・作者・主人公 8 『伊勢物語』講読①…初段 9 『伊勢物語』講読②…二条后譚 10 『伊勢物語』講読③…東下り譚・伊勢斎宮譚 11 『源氏物語』講読①…桐壺巻 12 『源氏物語』講読②…若紫巻 13 試験		